

令和3年度地域振興基金を活用した区民活動助成制度の審査結果について

1. 目的

品川区地域振興基金を活用し、区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体を対象に、地域の課題や社会的課題の解決に向けた事業に資金助成を行い、多様な公益活動の活性化を目指すとともに、活動団体の育成を図る。

2. 事業概要

区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体が、4月1日から翌年2月28日までに実施する事業に対し、資金助成を行う。

3. 申請

(1) スケジュール

説明会	令和3年4月12日（月）
事前相談	令和3年4月19日（月）～4月30日（金）
申請書類提出	事前相談終了後～4月30日（金）
第1次審査会（書類審査）	令和3年5月28日（金）
第2次審査会（面接審査）	令和3年6月28日（月）

(2) 申請できる団体

- ①品川区内において公益活動を目的として活動している団体（町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体等）であること。
- ②スタートアップ助成については、団体設立からおおむね5年以内であること。
- ③区民活動情報サイト（しながわすまいるネット）に登録している団体であること。
- ④品川区に主たる事務所または活動拠点を有すること。
- ⑤3人以上で構成されていること。
- ⑥団体の運営に関する規則（定款、規約、会則等）が定められており、なおかつ、会計処理が適正に行われており、内容を提示できること。
- ⑦団体構成員相互の利益を図ることを目的とする団体（趣味サークル等）ではないこと。

他

(3) 対象となる事業

- ①品川区の地域課題や社会的課題解決のために取り組んでいる事業であること。
- ②品川区の地域づくりを目的とした事業であること。
- ③品川区民の福祉等の向上に寄与する事業であること。
- ④同一事業について、他の制度による助成を受けていないこと。
- ⑤同一事業について、平成30年度以前に本制度による助成を受けていないこと。

他

4. 審査方法

「地域振興基金活用推進会議」（審査会）による書類審査、面接審査を経て決定。

- (1) 審査委員：7名（学識経験委員1名、有識者委員2名、公募委員2名、区職員2名）
- (2) 審査基準：申請事業の内容、金額について次の基準で審査を行う。

- ①事業の目的が明確であるか、具体的に示されているか
- ②地域ニーズや地域課題、社会的課題を具体的に把握し示されているか

- ③多くの区民にとって有益な、公益性のある事業目的となっているか
- ④事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか
- ⑤実施体制や責任体制が明確であり、実施内容と組織体制が整合しており、継続的な事業実施が期待できるか
- ⑥スケジュールが具体的で、実施可能な計画になっているか
- ⑦事業目的に合致し、成果が具体的に（数値、指標、状態など）示されているか
- ⑧事業を遂行することにより、団体の自立・成長・能力向上が期待できるか
- ⑨実現可能性の高い予算で収支のバランスがとれ費用の使途は事業目的に対し妥当か
- ⑩積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか

5. 助成金額について

(1) 助成の種類

- ①スタートアップ助成（品川区区内において活動の立ち上げを支援する）
助成対象額の4分の3以内で上限30万円
- ②チャレンジ助成（品川区区内において活動の継続・発展を支援する）
助成対象額の3分の2以内で上限50万円

(2) 対象経費 謝礼、消耗品費、印刷費、使用料、人件費等

6. 予算 5,000千円

7. 審査結果

申請：6事業

(1) 選定事業：5事業（スタートアップ助成3事業、チャレンジ助成2事業）

	事業名	申請団体	助成額 (総事業費)
1	【スタートアップ助成 3年目】 みんなでつくる親子ひろば 「そとぼ〜よ！」@文庫の森	(特非)そとぼ一よ (代表理事：本道 良子)	162,000円 (544,425円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
① 自然と関わる外遊びを通して、子どもの自己肯定感を育み、「子どもの遊び、学び、育ち」の意味や大切さを広く伝えていく。			
② 文庫の森で月2回金曜日に乳幼児親子対象の「屋外型親子ひろば」を開催する。			
③ 乳幼児期からの外遊び体験普及活動を通じて、人が自分らしく豊かに成長できるまちづくり、社会形成に寄与する。			
2	【チャレンジ助成 3年目】 美容ボランティア人材養成事業	(特非)プラチナ美容塾 (理事長：伊藤 文子)	97,000円 (151,450円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
① 美容ボランティア講座、その後のボランティア体験を経て、地域ボランティア活動の活発化に寄与する。			
② 高齢者を中心に、美容講座やボランティア講座を開催し、技術を習得した後、実際に高齢者施設やオンラインで美容ボランティア体験をする。			
③ 講座受講者に対し、自分が必要とされていることへの気づきを促し、生きがいを感じてもらえる機会となる。また、地域のボランティア活動へとつなげることで、地域共生社会へ寄与できる。			

3	【チャレンジ助成 3年目】 楽しいiPadライフを始めよう！～重 度心身障害の方も一緒に～	(特非)ICT救助隊 (理事長：今井 啓二)	398,000 円 (614,675 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 障害を持つ人の生活の質の向上のために、ICTを活用した、難病患者や重度障害者のコミュニケーション支援を行う。</p> <p>② コミュニケーション支援ができる家族や支援者に対して、iPad や ICT機器の機能や使い方を学ぶ講習会を実施する。</p> <p>③ 障害者のコミュニケーション支援の必要性を周知できる機会を持つことで、今後さらに相談へとつなげていける。また参加者同士のつながりが持て、支援者の輪が広がる。</p>			
4	【スタートアップ助成 1年目】 すまいるキッズプログラム	すまいるキッズ (会長：西村 公児)	45,000 円 (60,902 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① GIGA スクール構想下においての、プログラミング教育による小学生の ICT 支援。</p> <p>② 小学生と保護者を対象にプログラミング教室を開催。PC・タブレットの操作方法や、プログラミングを楽しく学ぶ機会を提供。</p> <p>③ ICT についての関心が高まり、プログラムを通して自分の考えを表現することで、子どもの自己肯定力を育む。</p>			
5	【スタートアップ助成 1年目】 地域団体向けオンラインイベント 運営テクニック研修会	(一社)モノづくり X プログラミ ング for Shinagawa (代表理事：杉本 将輝)	163,000 円 (303,128 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① コロナ禍で地域団体の対面での事業開催が困難な中、オンラインでの事業運営で活動を発展させるための支援を行う。</p> <p>② 地域団体を対象とし、オンラインイベントの企画・ツールの活用方法・運営についてのノウハウを学ぶ研修会を実施する。</p> <p>③ 地域団体がオンラインイベントを実施できるようになることで、その活動を継続・発展させ地域社会への貢献ができる。</p>			
合計			865,000 円 (1,674,580 円)

(2)不選定事業：1事業（チャレンジ助成1事業）
[書類審査]（1事業）

	事業名	申請団体
1	【チャレンジ助成 1年目】 AI（人工知能）による快適生活～新しいライフスタイル をめざして～	任意団体
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① AIにより高齢者や障害者の方がコミュニケーションをとれるようになることで、社会参加ができ情報格差が軽減されるようにする。 ② 高齢者・障害者・支援者の方向けにAIを活用することでコミュニケーションが広がるという内容の講演会を実施。 ③ AIの活用により、コミュニケーションが拡大し、生活の質が向上する。 [不選定理由] ・今回の申請内容は、令和元年度に採択実施された事業内容と類似しており、新規事業と判断できず本助成制度の対象事業と認められなかったため、不選定とする。		

8. 審査後スケジュール

- (1)助成金交付 8月上旬
- (2)公開報告会 令和4年1月28日（金）区役所第三庁舎6階講堂